

# 石川県水道用水供給事業 上下水道耐震化計画(上水道)

石川県 土木部 水道企業課  
策定 令和7年1月

## 1 目標

石川県では、手取川ダムを水源として、北は七尾市から南は加賀市まで9市4町に給水しています。現在使用している送水管は大半が供用後40年以上経過しており老朽化が進んでいます。

平成19年の能登半島地震では七尾市内で送水管の継手が外れ、断水する被害が発生しました。

これを契機に、県では平成22年度より、既設の送水管とは別ルートで耐震管を整備する送水管耐震化事業(2系統化)に着手しております。

令和6年能登半島地震では、耐震化工事完了区間で被害がなかったことから、送水管耐震化事業(2系統化)を加速させ、今後、概ね6年間で完了することを目標に、災害に強く持続可能な上水道システムの構築を目指します。

## 2 計画期間

令和7年4月～令和13年3月 (計画期間は6年程度とする)

## 3 水道システムの急所施設の耐震化(水道用水供給事業)

### (1) 取水施設(鶴来取水場)

	箇所数(箇所)	施設能力(m <sup>3</sup> /日)	耐震化率(%)
対象全取水施設	1	261,200	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	1	261,200	100
耐震化目標	耐震化完了済		

### (2) 導水施設(導水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管延長	耐震適合管延長 (耐震管除く)	耐震適合管以外	計	耐震管率(%)	耐震適合率(%)
対象全導水管(令和5年度末時点)	1,081	0	0	1,081	100	100
耐震化目標	耐震化完了済					

### (3) 浄水施設(鶴来浄水場)

	箇所数(箇所)	施設能力(m <sup>3</sup> /日)	耐震化率(%)
対象全浄水施設	1	244,000	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	1	244,000	100
耐震化目標	耐震化完了済		

(4) 送水施設(送水管)

既設送水管+2系統化

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
対象全送水管(令和5年度末時点)	94,572	0	106,711	201,283	47	47
耐震化目標(令和11年度末迄)	175,124	0	105,061	280,185	63	63
耐震化目標(令和12年度末迄)	210,844	0	105,041	315,885	67	67

※令和12年度末迄には、耐震管で整備する2系統目の基幹送水管路布設工事が完了するため、送水系統(基幹)全体としての耐震性が確保される。

(参考) 2系統化

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
対象全送水管(令和5年度末時点)	16,100	0	0	16,100	12	12
耐震化目標(令和11年度末迄)	94,300	0	0	94,300	73	73
耐震化目標(令和12年度末迄)	130,000	0	0	130,000	100	100

(5) 配水施設(配水池(配水塔含む)及び浄水池)

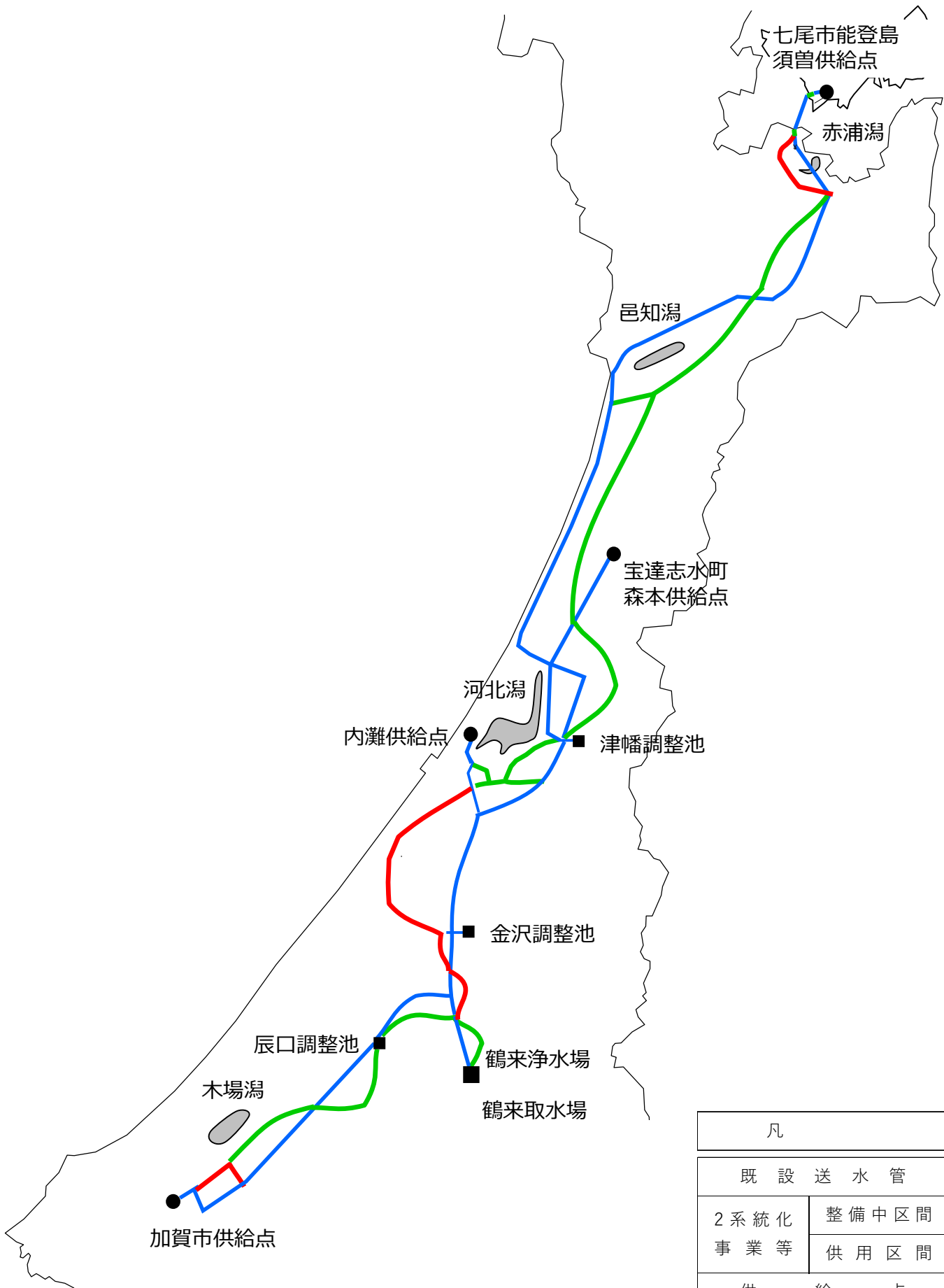
	箇所数(箇所)	有効容量(m <sup>3</sup> )	耐震化率(%)
対象全配水池(辰口・金沢・津幡調整池)	3	36,260	100
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	3	36,260	
耐震化目標	耐震化完了済		




(6) ポンプ所(取水、導水、送水及び配水ポンプ所)

ポンプ所は鶴来取水場に含む

# 石川県水道用水供給事業 上下水道耐震化計画（上水道）

R7.1 時点



凡		例
既設	送水管	
2系統化 事業等	整備中 区間	
	供用 区間	
供	給点	
調	整池	